



10/1 (水) オリックス対ソフトバンク戦 (京セラドーム大阪)。オリックス・バファローズ/清原和博内野手 (41) が現役ラストを迎えたこの日...。ドームは3万超の満員。同じ今季限りでの退団を表明したソフトバンク・王監督からの花束贈呈という感動的なシーンの後に試合は開始されました。「4番 指名打者」で先発出場した清原は1・2打席目は右飛と空振り三振でしたが、3打席目に右中間二塁打を放ち通算1530打点を記録!! 最終打席は豪快な空振り三振で締めくくりました。試合は4 - 1のオリックス勝利で終了～そして「引退セレモニー」へ...

今回はこの引退試合とセレモニーの映像露出量に着目してみました！  
(試合終了後の20:30～翌朝10:00を対象)

この間で4時間30分弱放送されたプロ野球関連報道の内、引退試合 (結果含む) または清原 (プレイバック映像等) に関する出稿がなんと…  
3時間37分28秒 (82%)!

そしてセレモニーについては引退試合の象徴的な一場面ですので、やはり各局で露出しています。緊急帰国して駆けつけたマリナーズ・イチロー外野手、涙ながらに花束を手渡した阪神・金本知憲外野手、歌手・長渕剛とファンが一体となった「とんぼ」大合唱。そして照明を落としたグラウンドでスポットを浴びた清原のスピーチ (当日夜のCX「すばると!」はこのスピーチの様子をノーカットで放送)。

地上波での全国中継が無かった試合の様子が、各局のスポーツ報道番組によって日本中に届けられました。ちなみにこれをCMの広告費に換算すると約8億6千万円相当の価値になる驚きの数字です。

～番外編～  
『KKコンビのもう一方、元パイレーツ・桑田真澄投手の引退試合と出稿量を比較』

9月23日 (火 祝) テリー伊藤率いる「つってけベイブルース」の一員として、欽ちゃん球団茨城ゴールデンゴールズ戦で登板。(試合は7 - 6で「つってけベイブルース」が勝利)

この試合に関する出稿は試合当日～翌日で約35分間。プロ野球の公式戦で引退試合を行った清原選手と違い、スポーツニュースで特集が組まれることはなかったものの、1万人のファンを迎えてのパフォーマンスと桑田投手らしい爽やかで丁寧なスピーチの映像は、視聴者に強い印象を残したのではないのでしょうか。

今回の結果からも希代のヒーロー…男・清原の注目の高さを改めて実感しました。現役引退後のこの大物2人の動向に注目が集まると思いますが、何はともあれ「お疲れさま」でした!

調査期間：  
2008年10月1日 (20:30)～2008年10月2日 (10:00)  
2008年9月23日～2008年9月24日  
対象局・番組 NHK・NTV・TBS・CX・EX・TXのニュース、情報番組 (すべてニホンモニター調べ)